

2026 年 10 月 8 日

各 位

碧海信用金庫

ヒロセーロジ株式会社との
「へきしんサステナビリティ・リンク・ローン」の契約締結について

碧海信用金庫（理事長：深谷 誠）は、ヒロセーロジ株式会社（代表取締役：高須 宏昭）と、「へきしんサステナビリティ・リンク・ローン（以下：へきしんＳＬＬ）」の契約を締結いたしましたので、お知らせします。

本商品を通じてお客さまの脱炭素経営に係る取り組みをご支援することで、お客さまと共に持続可能な地域社会の実現を目指してまいります。

記

1. 「へきしんＳＬＬ」について

本商品は、お客さまがサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（ＳＰＴｓ）として設定したＣＯ₂排出量削減に関する挑戦目標の達成状況と融資条件が連動し、目標達成時には金利の引き下げを行う融資商品です。

信金中央金庫の組成サポートを活用し、当金庫が策定した本フレームワークは、国際的な原則やガイドラインに適合していることを、株式会社格付投資情報センター（Ｒ＆Ｉ）より第三者評価を受けております。

2. 契約締結先

会 社 名：ヒロセーロジ株式会社
所 在 地：安城市和泉町大海古 6 番地 14
代 表 者：高須 宏昭
事業内容：一般貨物利用運送業

3. 契約内容

実 行 日：2026 年 9 月 30 日
期 間：5 年
融資金額：非公表



記念盾を受け取る高須社長（右）

以 上

ヒロセロジ株式会社 サステナビリティ・リンク・ローン概要

【ヒロセロジ株式会社の概要】



(ホームページ URL)

<https://www.hirose-logi.co.jp>



2014 年の創業以来、愛知県にとどまらず北陸地方や九州地方など全国規模で運送業に従事。大型車から 4 トントラックまで 43 台を保有し、少しずつ事業を拡大している。物を運ぶだけの運送会社ではなく、配送先のお客様の多様なニーズに対応し、「人、モノ、まごころを繋ぐ」ことを大切にし、「お客様への感謝の気持ちを忘れない本物のドライバー」を育て、パートナーとして選ばれる企業であり続けることを目指している。

〔運送品目〕

- | | |
|-----------|--------|
| ・ 自動車部品全般 | ・ 建築資材 |
| ・ 物置 | ・ 梱包材 |

大手企業を取引先に持ち、
自動車部品を中心に地域の
産業を運搬を通じて支
えている。

〔安全対策・運行管理〕

- ・ クラウド型デジタコを活用した運行管理の効率化
- ・ クラウド型ドラレコを活用した安心・安全なサービスの提供

〔保有車両〕

- | | |
|---------------------|------|
| ・ 15 t ウイング (PW) | 1 台 |
| ・ 15 t ウイング (4 軸低床) | 29 台 |
| ・ 4 t ウイング | 11 台 |
| ・ 4 t ウイング (PW) | 1 台 |
| ・ 4 t ユニックス車 | 1 台 |

4 軸低床の 15t ウイング車
を多く導入することで走行
の安定性アップ、積み下ろ
し作業の負担軽減を実現。

<当社のサステナビリティ>

環境への取組み

《CO₂排出量の少ない車両の導入推進》

- ・トラックの更新時に低燃費ディーゼル車への更新を進める

《エコドライブの推進》

- ・外部講師によるエコドライブ講習をドライバーが受講することで、運行時のCO₂排出量削減につなげていく

《省エネの推進》

- ・社内での省エネ教育を実施し、電力使用量の削減に努める

上記の取組みを推進し、脱炭素社会の実現に貢献していく。

働き方改革の取組み

《ライフスタイル・収入要望に合ったコースの選択》

○決まった時間に仕事をしたい

- ・決まった時間に決まった場所に配達をする定期便。距離はさまざまだが、同じルートを走るので日々の予定は立てやすい

○遠いところに行きたい、とにかく稼ぎたい

- ・毎日違った場所へ、さまざまな時間に配達をするフリー便。距離も時間も届ける物も毎日さまざまに選択可能

《充実した社員教育》

○研修制度

- ・未経験者でも一人前のドライバーにステップアップさせるため、同乗研修などのサポートが充実している
- ・費用面など会社の全面的なサポートのもと大型免許やフォークリフト免許の取得が可能

ワークライフバランスを意識した職場環境づくりを推進



(安全点検の様子)



(15t ウイング車)

【サステナビリティ・リンク・ローンのサマリ】

- ・設定したK P Iは当社におけるC O₂排出量（Scope1、Scope2）の削減率。
- ・設定したS P T sは2025年9月30日（2024年度）を基準日とする対比により、2031年9月30日（2030年度）にC O₂排出量の削減率22.2%を達成する。
- ・基準日以降、毎年次にC O₂排出量の削減率を公表し、初回判定は2027年9月30日（2026年度）に行う。

SPTs の目標値					
基準日	2025/9/30	基準日時点排出量（単位：t-CO ₂ ）			1019.96
基準日以降各年次	2027/9/30	2028/9/30	2029/9/30	2030/9/30	2031/9/30
基準日比削減率	4.4%	8.9%	13.3%	17.8%	22.2%

【S P T sの野心性】

- ・当社は Scope1、Scope2 のC O₂排出量において、国の NDC を上回る水準の削減計画を策定している。
- ・当社自身のトラックレコードとの比較についても、野心性が認められる。

【S P T s達成手段】

- ・Scope1 については、トラックの運行効率を見直し、アイドリングストップやエコドライブを徹底していく。また、低燃費ディーゼル車への更新を進める。
- ・Scope2 については、社内教育を深めて省エネ活動を進めていく。
- ・将来的には Scope3 の算定、削減を検討していく。

【S P T sの妥当性】

- ・当社から開示を受けた各種資料のほか、当社との対話によるS P T sの妥当性について検証した結果、へきしんS L LのC O₂排出量削減率の基準を満たすものと判断できる。

以 上